

事業実績書

団体名	おごおり地域づくり協議会
-----	--------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

「出会い」「つながり」共に支え合うまちづくり ～心つながる笑顔と幸せあふれるまち～

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	若者とともにつくるまちづくり		
	事業名	おごおりゆめフェスタ	決算額	716,699円
②	視点	小郡ブランドをつくる		
	事業名	新山口イルミネーション ほか	決算額	743,675円
③	視点	子育て世代の交流の場づくり		
	事業名	親子で楽しむ春の健康まつり&ライブ ほか	決算額	353,095円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

	検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①	14の企業、警察、消防、自衛隊等行政機関とも連携し、16種類職業体験を用意し、地域内の小学生を対象に、職業体験を行った。集客 約1,000人。 山口市内の企業を知り、また職業理解の促進を進めつつ郷土愛を育むことが出来た。大学生、高校、中学校の生徒たちのボランティアも多数参加し関係人口の創出や担い手確保にも寄与した。	○(概ねできた)
②	吉南青年会議所と協働で新山口イルミネーション実行委員会を立ち上げ、駅北口と南口を繋ぎイルミネーションで新山口駅に華やぎを与え、駅を中心とした地域の活性化、利用促進に寄与した。南部の小学生や松風館高校生等にもコラボでイルミネーションオブジェを制作し、設営、撤去の協力を得た。	○(概ねできた)
③	地域の団体と協働で、大人から子供までが食事、運動、生活リズムを通して一緒に楽しむことが健康につながるについて学び、「やまぐち盆唄」「ヘルスケア」「笑いヨガ」「わらべうた、ふれあいあそび」などを行った。マルシェ、アコースティックライブなども同時開催したが、時期のせい、参加者が少なかった。	△(課題が残った)

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

第3次地域づくり計画最終年として、区分に沿って「地域振興部会」「地域個性部会」「地域福祉部会」「安心安全部会」「環境づくり部会」の5部会と各種実行委員会で目的達成に向け活動を行なった。幅広い世代の意見を集約し、多様な住民のニーズや課題解決に向けまちづくりを進めた。参加ハードルを軽減した多世代交流を行うことで、高齢者から若者が参加しやすい環境整備を行い、担い手不足の対策を行った。自治会や団体、各種学校、行政そして企業とも連携協力し、魅力ある交流の場を創出し地域資源を活かしたまちづくりに取り組んだ。また、関係人口の創出を推進し安心安全でみんなが笑顔で心豊かに住み続けられる地域社会を目指して、地域の一体感の醸成と、若者世代の活躍の場の創生を進めた。

5 事業内容

(1) 協議会運営

	協議会運営費
運営費	6, 478, 718円
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長1名、事務員3名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務通信費・消耗品費 (成果・評価) 役割分担を明確にして協議会事務局運営がスムーズに進められた (今後に向けて) 現状維持で事務局運営を円滑にすすめる

(2) 地域振興

事業名	「SLのまち」の推進
事業費	67, 722円
事業概要	(実施内容) SLやまぐち号運行のPR活動やおもてなしを新山口駅や沿線で行った また、公共交通の利用促進を啓発し、部会事業内でも活用した (実施時期) SLやまぐち号運行日、ほか (参加人数) 延べ150名 (成果) SLやまぐち号のおもてなしや公共交通の利用促進に寄与した (評価) 新山口駅を中心としたまちづくりを進め、地域振興の推進や駅との連携を深めることが出来ている (今後に向けて) 今後も山口線沿線を盛り上げ、観光客の受け入れ先として駅を中心とした集客、滞留人口増加に取り組むことで関係人口を増やす

事業名	若者とともにつくるまちづくり
事業費	716, 699円
事業概要	(実施内容) ゆめフェスタ事業への参画 ほか (実施時期) 6月29日 (参加人数) 1,000名 (成果) 子どもと子育て世代が共に交流を行い、郷土愛を育み、担い手づくりに寄与した (評価) 若者が活躍できる担い手づくりの一助となった (今後に向けて) 若者が中心となったまちづくりを進め、定住を促し、担い手を増やしていく

事業名	楽市楽座の開設
事業費	258, 420円
事業概要	(実施内容) 小郡一直線まつり 等 (実施時期) 10月12日 ほか (参加人数) 2, 000名 (成果) 新山口駅前広場や自由通路を活用して駅周辺の活性化、地域振興に寄与した (評価) 駅を中心のまちづくりを住民も待望している (今後に向けて) 山口県の玄関に相応しい拠点となるように点と点をつなげ面を構築し、居場所づくりを模索していく

(3) 地域福祉

事業名	健康づくり、体力づくりの推進
事業費	364, 833円
事業概要	(実施内容) ラジオ体操、ディスクゴルフ大会、健康体操の啓発、健康講演会 など (実施時期) 7月22日、23日、24日、12月7日 ほか (参加人数) 1, 000名 (成果) 3小学校で夏休みのラジオ体操を行い運動習慣を身につけ体力作りに寄与したニュースポーツの啓発などで健康寿命の延伸につなげ、健康への意識啓発ができた (評価) 他団体や保健福祉センターや包括支援センターと連携を強化した健康で生き活きと暮らせるまちづくりが推進されている (今後に向けて) 健康寿命の延伸を意識した事業を継続・推進していく

事業名	困ったときにお互いが助け合えるまちづくり
事業費	95, 000円
事業概要	(実施内容) 地区の夏まつり、餅つき大会 ほか (実施時期) 年間通して (参加人数) 1, 000名 (成果) 地区の祭りを通して、助け合えるまちづくりの推進ができた (評価) 各地区の住民のつながりが希薄化する中で、イベントを通して絆をつなぐことで助け合い精神が芽生え、有事の際に助け合える関係性を構築 (今後に向けて) 互いに支え合える健康的なまちづくりを進める

事業名	子育て世代の交流の場づくり
事業費	353, 095円
事業概要	(実施内容) SDGsエンジョイキャンプ、春の健康まつり ほか (実施時期) 9月20日、3月29日 (参加人数) 100名 (成果) 親子参加の事業で地域間交流・世代間交流が出来た (評価) 地域間交流、世代間交流の場が増えた (今後に向けて) 子育て世代(若者)の多くの参画を促し、関係人口の増加をはかる

(4) 安心・安全

事業名	地域防災力の向上と防災減災活動の推進
事業費	528, 190円
事業概要	(実施内容) 中学校での防災講演会、防災を考えるキャンプ、消防団とのコラボ事業、防災出前講座 ほか (実施時期) 年間通して (参加人数) 800名 (成果) 中学校から依頼され、出前防災講演会を行い、災害が起きたときに何ができるかを考える機会となった (評価) 南海トラフの確率が上がったこともあり防災意識が高まった (今後に向けて) 災害に対応できる強いまちづくりを進める

事業名	交通安全意識の啓発
事業費	44, 220円
事業概要	(実施内容) イベント等での交通安全啓発、交通安全チラシの配付 ほか (実施時期) 年間3回 (参加人数) 300名 (成果) 他団体と協働により、多くの方と共に交通安全啓発ができた (評価) 交通安全の意識啓発、推進に繋がった (今後に向けて) 交通安全意識の啓発推進を継続する

事業名	犯罪のないまちづくり
事業費	48, 400円
事業概要	(実施内容) 防犯対策協議会や警察と連携し、チラシの配布で啓発を行った。 (実施時期) 年間3回 (参加人数) 120名 (成果) 振込詐欺や特殊詐欺などの周知 (評価) 防犯啓発は継続することに意義があると思われる (今後に向けて) 防犯意識の啓発を継続していく

(5)環境づくり

事業名	美しい、住みよいまちづくり
事業費	396, 399円
事業概要	(実施内容) ごみゼロゼロ作戦、スポごみ、花いっぱい運動 ほか (実施時期) 9月27日、12月14日、ほか (参加人数) 500名 (成果) 学校や企業、地域と共催で環境美化活動を行った (評価) 公共交通を活用したごみゼロ作戦は好評だった (今後に向けて) 楽しい企画で多くの参加者を得て、環境美化を進める

事業名	親子でふれあえる公園づくり
事業費	397, 705円
事業概要	(実施内容) 公園の整備事業の補助、公園の活用推進、SDGs推進 ほか (実施時期) 通年 (参加人数) 100名 (成果) 公園整備の補助やSDGs講座を行い、環境整備に寄与した (評価) 各地区の公園で環境美化の推進ができた (今後に向けて) 住み続けたいと思える美しいまちづくりを継続

(6) 地域個性創出

事業名	小郡ブランドをつくる
事業費	743, 675円
事業概要	(実施内容) 新山口イルミネーション、オゴオリザクラ保護 ほか (実施時期) 11月28日～R8. 1月12日、通年 (参加人数) 3, 000名 (成果) 17万球のイルミネーションで新山口駅周辺を照らし関係人口の創出に寄与 (評価) 子どもたちに郷土愛を高め、住み続けたいまちとなる (今後に向けて) 新山口駅周辺を中心に小郡ブランドの推進を継続

事業名	多様な地域資源の発掘
事業費	141, 488円
事業概要	(実施内容) 小郡中まち歩き、古地図でまち歩き、5元号マップ ほか (実施時期) 年間通して (参加人数) 1, 000名 (成果) 中学1年生700名のまち歩きに毎年参画している また、県観光連盟主催の古地図でまち歩きにも参画し、他地域のまちも歩いた (評価) 住民が5元号のまちに興味を持ち、地域の理解が向上した (今後に向けて) 5元号マップを活用した事業計画を進める

事業名	心豊かに暮らし続けることが出来る
事業費	108, 400円
事業概要	(実施内容) 小郡地域内3小学校で命の授業を共催で行った ほか (実施時期) 年間通して (参加人数) 1, 800名 (成果) 助産師を派遣し、受精から生まれるまでのお話や産道を通る体験などにより、命の尊さを学び、自己肯定感や他者肯定感を育む (評価) 自己肯定感を高めることにより人にやさしい地域づくりが促進された (今後に向けて) 毎年小学校4年生を対象に行う

事業名	賑わい創出に向けた意見集約と情報発信
事業費	2, 340, 195円
事業概要	(実施内容) 情報紙おごおりの編集発行、HP運営 ほか (実施時期) 年間通して (参加人数) 25, 000名 (成果) 情報紙等で地域の情報共有を図った。 (評価) 情報の共有の手段として広く周知された (今後に向けて) 情報共有を継続することで地域力アップ